

Lake side ONO

VOL. 3 平成10年4月

小野史跡マップ



小野湖(くろせ橋より撮影)

水・緑・ふるさと小野

再発見!

企画・制作

うりぼう倶楽部

事務局 / 宇部市小野区餅ヶ山
うりぼう工房内

参考資料 / 小野中学校が県と市から
郷土史教育センター校の指定を受け
て作成した図面及び資料



桂家の墓 (かつらけのはか)

東阿武瀬集会所の裏山(丸山)の中に直径2メートルもある自然石の大きな墓がある。これは12代総理大臣の桂太郎の祖先である桂就政の墓である。墓石には寛文8年(1668)と刻んである。桂太郎は萩に生まれたが幼い時、川崎(現、両川)に住んだことがあり、萩の明倫館に入る為に家移ったのである。祖父の与一右衛門信正夫婦の墓は両川にある。

大歳神社 (おおとしじんじゃ)

本社は小野では最も早く開けた市小野にあり、相殿にはこの地方を開拓した人霊を祀っている。当社は延喜2年(902)8月に御鎮座された。現存の社殿安永5年(1776)1月に字田頭に建てられ、明治の一郷一社の政策により横瀬八幡宮に合祀されたが、社殿はそのまま維持管理され祭祀も12月23日に申し伝え通りの方法で実施されている。



横瀬八幡宮 (よこせはちまんぐう)



嘉暦2年(1327)に、志賀将監大夫が長門末信の正八幡宮を、この近くの横瀬に勧請したことはじまる。その後、応永3年(1406)宇内の峠山(今の宮ヶ峠)に奉遷し領内の社として、大内氏、毛利氏の崇敬も篤く、石高もあったという。明治6年郷社に列し同43年現在地に奉祀する。祭神は応神天皇、伊弉諾尊、伊弉冉尊、伝来の横瀬八幡宮縁起絵巻は、社僧と推定される沙弥徳在の勧進により永正13年(1516)に奉納されたもので、昭和44年に山口県の指定有形文化財に指定された。

小野再発見
してね!



うりぼう倶楽部

